科目名 Subject	美容衛生管理論 Sanitation administration Theory		教員名	菅野　康則	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	△	△	―
科目の概要	美容衛生管理論は、これまで学習してきた「人々を疾病から守り、健康の保持・増進をはかる知識と技術」を確実なものにするため、公衆衛生（予防医学と保健）、環境衛生（快適な生活環境条件、環境と健康障害）、感染症（病原微生物、主な感染症、感染症の予防）、衛生管理技術（感染症を予防する重要手段の消毒法）などで構成されている。				
授業の目標	この科目は、４分野から構成されているが、これを（公衆衛生・環境衛生）、（感染症）、（衛生管理技術）の３分野に整理し、分野ごとに教科書と教材を用いて学生自ら課題に取り組み、質疑応答を通して最新の正しい知識を身に付ける。				
時間外学習 （予習・復習）	講義区分（1～6回）、（7～11回）、（12～15回）の教育が終了しだい、その都度授業計画の予習・復習・備考欄に記述したテーマについてのレポートの提出を求めます。				
教科書・教材	教科書	衛生管理（2018）、日本理容美容教育センター			
	教材	配布プリント（教科書と国家試験に基づくまとめ）			
	使用設備・備品				
	参考文献				
評価方法	試験（８０％）、平常点（１０％）、レポート（１０％）				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	授業中の居眠り、おしゃべり、内職等の行為者には退室を命ずる事がある。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	・公衆衛生とは ・公衆衛生の歩み ・公衆衛生とWHOの役割を学ぶ	公衆衛生は、人々の生命と生活を守ることを目標にしていることが理解できる。	・病気にならない生活の仕方を考えてみよう（45分）。 ・公衆衛生の発展に寄与した人々を調べてみよう（45分）。
第２回	・公衆衛生水準の評価法 ・先進国の疾病構造（生活習慣病）と対策を学ぶ	国民の健康水準を明らかにして、我が国の死亡率の半数以上を占める生活習慣病予防の重要性が理解できる	我が国の死亡原因は、100年前、50年前と比較してどのように変化したかをまとめてみよう（100分）。
第３回	・母子保健、介護保険、精神保健、医療保険などの社会保障制度について学ぶ	社会保障とは国民が相互に支えあい、国が必要な扶助を行うことで成立していることの重要性が理解できる	寝たきりや認知症にならないで、生涯現役社会を実現するには、日常生活の中でどうすればよいかまとめてみる（100分）
第４回	・栄養と食生活 栄養とその働き、栄養摂取状況、食生活指針などを学ぶ	国民の栄養は良好だが、食生活は、生活習慣病との関連が深く食生活の改善の重要性が理解できる。	体を構成している成分と食品に含まれている成分の関係についてまとめ、肉食中心の食生活の問題点をまとめる（100分）
第５回	・空気、水、日光と健康について学ぶ	空気、水、日光は自然環境要因であり、人の生命と生活に深い関連があることが理解できる。	健康は様々な環境要因によって左右される。空気、水、日光が人の健康にどのような影響を与えるかまとめてみる（90分）
第６回	・生活環境衛生 衣と住居と健康 上下水道と廃棄物と健康を学ぶ	生活に必要な上水、人々に快適な環境を与える衣服や住居、し尿やごみの適正処理について理解できる。	衣服下気候と体温調節について、人間の健康に影響する住居条件や、ごみの中の資源の大切さをまとめてみよう（90分）
第７回	・感染症の原因となる微生物 とはどんな生物かを学ぶ	大きさ、形、構造、生活現象、増殖と環境の影響などが理解できる。	細菌は細胞構造をとり自ら分裂する。ウイルスは細胞構造をとらないのに子孫を残す仕組みをまとめてみよう（100分）
第８回	・感染症成立のための３大要因と感染のなりゆきについて学ぶ	①病原体の存在②病気になりやすい人の存在③病原体を運搬する動物や物の存在が理解できる。	感染症は、３大要因の１つを欠くと成立しないことを調べて理解しよう（90分）。
第９回	・感染症法で規定している感染症の種類を学ぶ	類型、感染症名、性格、主な対応・措置などについて理解できる。	この中に発病すると美容業務に従事してはならない感染症名とその特徴をまとめてみよう（100分）。
第１０回	・空気、飛まつを介する感染症を学ぶ	結核、ジフテリア、SARSとMERS、インフルエンザ（含むトリ、新型）、麻しん、百日咳。風しんについて理解できる。	空気感染と飛まつ感染の違いをまとめてみよう（100分）。
第１１回	・飲食物を介する感染症 ・血液を介する感染症 ・動物、節足動物を介する感染症を学ぶ	・消化管感染症３種 B型肝炎、C型肝炎、エイズ、梅毒、ラッサ熱、デング熱・ペストなどについて理解できる	病原体が飲食物を介して感染した場合に食中毒と感染症に区分されるが、どう違うのかまとめてみよう（100分）。
第１２回	・消毒とは ・消毒の意義（重要さ） ・滅菌と消毒の区別を学ぶ	・感染症の発症には３大要因がある。消毒は、感染源と感染経路に対する防止対策であることが理解できる	美容器具は３大要因の感染経路（病原体を運ぶもの）に該当することを調べて理解しよう（90分）。
第１３回	・美容の分野における消毒を 学ぶ	・消毒に関連のある美容師法令が理解できる。	血液が付着した容器具や疑いのある器具類は特別な方法で消毒する。血液を介する感染症を調べてまとめてみる（90分）。
第１４回	・消毒法各論 理学的消毒法 化学的消毒法を学ぶ	・理学的・化学的消毒法に関する正確な知識が得られる。	理学的消毒法と化学的消毒法にどのようなものがあるか調べてまとめてみよう（100分）。
第１５回	・消毒薬の調整を学ぶ	・教科書の消毒薬希釈法の手順が理解できる。	167P（教科書）のエタノール水溶液の調整法を予習・復習する（100分）。